

製品名: USP45 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19683**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	USP45
別名	USP45; Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase 45; Deubiquitinating enzyme 45; Ubiquitin thioesterase 45; Ubiquitin-specific-processing protease 45
遺伝子 ID	85015.0
SwissProt ID	Q70EL2
免疫原	抗血清はヒト USP45 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

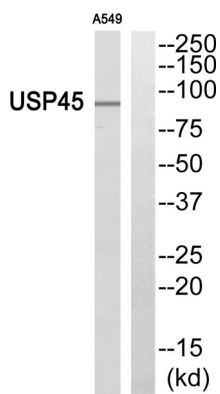
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、XPF-ERCC1 DNA 修復エンドヌクレアーゼの触媒サブユニットである ERCC1 に結合

する脱ユビキチラーゼである。このエンドヌクレアーゼは DNA 修復プロセスの重要な調節因子であり、コードされるタンパク質の脱ユビキチラーゼ活性は、XPF-ERCC1 の DNA 修復能力の維持に重要である。[RefSeq 提供、2016 年 9 月]、触媒活性: ユビキチン C 末端チオエステル + H(2)O = ユビキチン + チオール。類似性: ペプチダーゼ C19 ファミリーに属する。類似性: UBP 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。組織特異性: 広く発現しており、卵巣、骨格筋、脾臓で最も多く発現している。、

研究分野

-

画像データ



USP45 抗体のウェスタンブロット分析。右レーンが USP45 ペプチドでブロッキングされている。